



城星学園小学校 同窓会会報

第38号
平成30年10月吉日発行
城星学園小学校
同窓会

実を結ぶ、絆を結ぶ

学校長 亀谷 和廣

この季節、年々暑さが増していきような気がするのは、私だけでしょうか。

六月十八日午前七時五十八分、大阪府北部を震源に地震が発生し、五人の犠牲者と多数の負傷者、家屋の倒壊など甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。同窓生の皆さまはいかがでしたでしょうか。案じております。

さて、この三月、六十期生

九十二名が本校を巣立ち、卒業生の総数は、四四四六名を数えました。創立当初から、今に至るまで留まることなくバトンが渡され続けてきた証であり、一期生からすべての卒業生と恩師たちが強い絆で結ばれているものと感じています。

そして、その絆は、イエス・キリストに発するものであるのでしょうか。

聖書は、次のように述べています。

「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにつながっていないがら、実を結ばない枝はみな、

父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

ヨハネ15・1-5
卒業生一人ひとり、このみ言葉を贈ります。



こんにちは

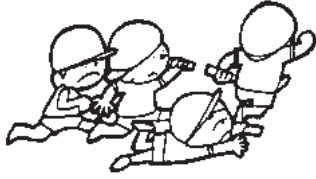
教頭 奥 栄三郎

昨年、六月にとうとう「ジイジ」になってしまいました。月日の経つのははやいもので、私も六十をこえました。周りのものすべてが可愛らしく思えてなりません。腹の立つこと、嫌なことも多々あるのですが、許せるという境地に至ってしまったという、自分で言うのも何ですが、仙人のような気持ちです。

孫が家に帰ってくる、その一挙手一投足に注目してしまします。目に入れても痛くないとはこのことでしょうか。孫が声を出して笑えば、同じように笑い、ピエと泣けば、大丈夫だよと声をかけに行き、こけたところを見れば、痛い痛い飛んでいけよと叫んでいる私がそこにいます。宮沢賢治か！「そんなの信じられへん」という同窓生もたく

さんおられるとは思いますが、年をとったんだなと考えてください。

学校では、教室めぐりをしています。一年生がお勉強をしているところを見るのは、本当にワクワクします。必ず、ペンを持ち歩き、ノートにサインをしています。そのときの子どもたちの笑顔、表情が可愛らしくてたまりません。ノートを見ながら、一人ひとりの成長を見守っていきたいと考えている今日この頃です。学校に訪れた際には、是非声をかけてください。忙しくなければ、笑顔でお話し致します。



◆新任の先生行です

はじめての城星

シスター 島元 美恵

右？左？2・3・4・・・えーと、左で3。

交通安全の歩行練習をしているわけではありません。小学校職員室のドアから出る時、私が自問していることです。これから始まる授業の教室に行くための最短コースを思い描いているのです。

はじめまして、城星学園同窓会の皆様。私は昨年の九月から城星学園に迎えていただき、宗教を担当しているシスター 島元美恵です。

今年の4月から小学校に所属し、小学1、2年生、中学3年生、高校1、2年生の宗教を担当しています。全校種の教室を渡り歩いているため、これから私はどこに行き、何をするのか、廊下を歩きなが

らスイッチを切り替えています。(現代のIT技術からはすっかり取り残された昭和・アナログ思考) 時々、スイッチを押し間違えて、昨年度の教室配置図を引き出して、三階から駆け下り、他の校舎の四階に駆け上ることすでに数回。

子どもたちと共に心も体も元気いっぱいいでられるよう、老化防止のために廊下を活用している日々です。どうぞ、よろしくお願い致します。



本年度より、英語を担当しております**中井茉莉**と申します。私は以前本校で勤めておりましたが、出産のため一度退職しました。

四月、始業式の日久しぶ

りに子どもたちの明るくいきいきとした校歌や聖歌の歌声を聞き、懐かしさでいっぱいになりました。と同時にこれから始まる学校生活のいろいろに思いを馳せて、心が引きしまる思いがしました。

以前勤めていてうれしかったことは、卒業していった人たちが、中学校でも英語をがんばっているよとか英語楽しいねんとか言って学校での話を聞かせてくれたことです。中学校から先の英語は楽しくおもしろいことばかりではないけれど、一生懸命前向きに取り組んでいる姿がとても嬉しく、輝いてみえました。だから、これからも子どもたちが英語が好きだと思えるような授業をがんばっていきたいと思います。また“子どもたちとともに”ということを中心に留めて毎日笑顔で明るく過ごしたいです。どうぞよろしくお願い致します。

アッシステンツアを 大切に

教員 藤原 礼

今年度より四年生の担任を
させて頂いている藤原 礼で
す。前任校が仏教校だった為
戸惑い続ける日々が続いてお
りますが、元気いっぱいの子
供たちと楽しく過ごすことが
できています。

私が城星学園小学校で勤務
させて頂くうえで、大切にし
ていることがあります。それ
はアッシステンツアです。私
は前任校では、子供たちを注
意するばかりの教師でした。
しかし、悪いところを見つけ
て注意するだけでは子供たち
は育たない、「共にいる」と
いうことが子供たちにとって
は、大切だと感じました。注
意するわけでもなく、難しい
話をするわけでもなく、ただ
一緒に遊んだり、何気ない話
をしたりすること、アッシス

テンツアを大切にする教師で
あり続けたいと思います。
至らないところも多々ある
とは思いますが、今後ともよ
ろしくお願いいたします。

子どもたちに 支えられて

教員 若林 美里

始業式の朝、電車を降りて
駅から歩道に降り立ったとき
に城星の子どもたちが学校に
向かう姿が私の目に飛び込ん
できました。そのとき、

「あ！城星の子だ！」と息を
呑むほど緊張したことをよく
覚えていきます。

この度、三年生の担任とし
て勤め始めました。四月当初
は緊張していた朝の道も、今
では子どもたちと一緒に楽し
く歩く道に変わり、朝の通勤
の時間もかけがえのない時間
になりました。担任をしてい

る学級では、元気な子どもた
ちと一緒に学習も遊びも全力
で取り組もうと奮闘していま
す。明るくまっすぐに接して
くれる子どもたちに支えられ
る日々です。

そんな子どもたちに少しで
も恩返しができるよう、私自
身も教員として成長していき
たいと思っております。どう
ぞよろしくお願いいたします。

子ども達と共に

教員 藤原 雄一郎

たくさんの縁とつながりに
導かれて、四月から城星学園
に勤めることになりました。

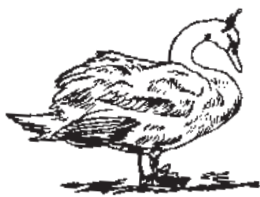
今まで住んでいた東京を離れ、
「教師になる」と「大阪で暮
らす」の二つの新生活が始ま
りました。

子ども達と初めて出会った
時、お互いに緊張していたの
を覚えていきます。初めは探り

探りであったのですが、今で
は運動場で一緒に走り回って
います。子ども達の溢れる元
気と日々成長していく姿に驚
かされています。

今はまだわからないことの
方が多く、不安と緊張、焦り
が続く中で日々を過ごしてい
ます。一日でも早く城星学園
と大阪に慣れて、「常に喜び、
絶えず祈り、全ての事に感謝
する」ことを忘れず、元気に
笑顔で子ども達と共に成長し
ていきたいと思えます。先輩
の教えを受けながら、日々精
進して参ります。

どうぞ、よろしくお願い致
します。



◆同窓生からのお便り

「神父になって」

三十七期生 上田 憲

城星学園小学校三十七期生の上田です。この度、司祭へと叙階され、皆様の馴染み深い玉造教会で神父をしております。まさか、自分が神父となつて、しかも、母校の近くで司牧することになるとは思つてもいませんでした。しかし、改めて思い返してみると、今の「私」を作り上げたのは過去の「私」であり、多くの人との出会いによるものだと気づきます。そこには、小学校のころから変わらず、「泣き虫」な私と同時に、神様とともに歩む確信を多くの人から教えていただいたことで、変わらない「私」と変えられていく「私」がいることを知ります。神父というのは、結婚もしませんし、ただただ、

神への信頼とともに自分の弱さを知つて、それでもなお、「神様の救いのわざ」を伝えていくことを使命としています。つまり神父というのは

「職業」ではなく、「生き方」です。そのような意味で、私は小学校での生活が、今の私を作つたと言えるでしょう。改めて、小学校の先生方や出会つた友人へと感謝したいと思います。ありがとうございます。

このように偉そうなことを言つてはいますが、なにしろ、神父として駆け出しのひよこです。どうぞ、母校へ来た際は、ひやかしに玉造教会へもお越しくださいませ幸いです。



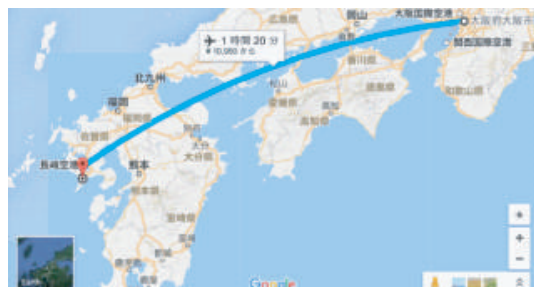
◆六年生の宿泊学習

少し前まで、奈良の歴史学習旅行に出かけていた六年生の旅行が、広島平和学習や宮島旅行を経て、長崎平和と祈りの旅に変わりました。

そして、現在は、五島列島にまで足を延ばし、三泊四日となつていきます。

まさに、祈りの旅を満喫できる旅行になつていきます。もちろん、六年生なりの楽しみもたくさんあるようですが・・・。長崎の大浦天主堂で始まり、浦上天主堂で締めくくる祈りの旅になつていきます。

途中、五島列島では、地元の方々を教えていただきすり身体験をします。



◆第六十期 同窓会幹事

三月に城星学園小学校を卒業し、今は、一人ひとりが期待に胸をはずませ中学校生活を謳歌しています。

同窓会のことは、右も左も分かりませんが、六十期の中心となつて会を進めたり、また、先輩方のお仕事のお手伝いをしたりしながら、城星学園小学校で学んだことを誇りに精進していききたいと思っています。

六名の幹事をご紹介致します。どうぞよろしくお願い致します。

山下 承太朗
長濱 和沙
石田 悠真
中島 咲和
高木 海斗
大北 結衣

平成二十八年年度より

ランドセルが茶色に変更されました。男女問わず、同じランドセルを使用致します。ランドセルカバーも新しくなりました。

防災頭巾が座布団型から背もたれ型(移動袋兼用)に変更になりました。

ホームステイの行き先がオーストラリアケアンズに変更になりました。

平成二十九年年度より

図工用巾着袋、体操服袋、靴袋が城星のロゴ入りの可愛いページジュ系の品物に変わりました。靴下、定規も城星グッズがそろっています。

学童保育(ドーポスコラ)が開園されています。
城星内部進学、星光学院中学校、明星中学校への特別選抜制度が実施されました。
運動会が府民共済スーパードリーナ(舞洲)での開催となりました。

◆新理事会発足について

城星学園小学校同窓会理事任期満了に伴い、二〇一八年六月二日(土)の理事会において、新理事会役員及び理事が承認されましたのでここに報告させていただきます。

会長	谷口 りか
副会長	岡部 俊敬
会計	北原 雅人
会計	高岸 善野
会計監査	前田真偉子
書記	北村 俊之
理事	奥出佳代子
	鈴木 栄一
	吉里 哲弥
	大野 尊之
	片山 和彦
	美尾野能成
	奥 栄三郎
	竹内 裕之
	高橋 直樹
	椛浦 孝宗
	稲津 佳奈

◆城星フェスタ

十一月四日(日)今年も小学校同窓会コーナーを実施します。当日はゲームコーナーを出店します。前日(午後二時頃より)準備、また当日のお手伝いをしてくださる方、**大歓迎**いたします。皆で気持ちの良い汗を流しましょう。

城星学園小学校同窓会

〒540-0004
大阪市中央区玉造二-23-26
TEL(06)6941-5977
FAX(06)6944-2662
ホームページ: <http://www.josei.td.f>

竹下 雄貴
野口 愛未
池田 珠美

なお、学園への連絡は、吉里 または前田にお願い致します。

以上のメンバーで小学校全体の同窓会を運営してまいります。どうぞ、よろしくお願致します。